

# 焦点

## 委員会 審査報告から

総務環境  
委員会

### デジタル移動系防災行政無線整備予算可決



委員会審査の様子

総務環境委員会に付託された議案は、条例案件5件、予算案件7件の計12件で慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

条例案件は、消費税法の一部を改正することに伴う条例改正が4件、使用料を見直す条例改正が1件です。消費税に関する3件と使用料に関する条例1件に反対意見があり、採決の結果賛成多数によりいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成26年度一般会計予算の歳入歳出の総額は、前年度対比5.1%増の280億円であり、歳入では市税収入は91億4千400万円余で前年度対比2.9%の増であり、法人税と固定資産税

の増額等によるものとの説明がありました。

歳出については、信州しおじりふるさと寄付金事業は、寄付者に対し市の特産品を贈る事により、塩尻地域ブランドの全国発信を行い、市のファン、応援団を増やしたいとの説明に対し、本年度は何件くらい考えているかとの問いに対し、30件の見込みとの答弁がありました。

また昨年度に引き続き庁舎耐震改修工事に6億9千万円の予算計上がされ、庁舎の長寿命化を図ること、また、災害時等で情報伝達に活用するデジタル移動系防災行政無線整備事業については、今年度は4億3千万円の予算計上がされ、平成26・27年度で整備



信州Fパワープロジェクト計画地視察

するとの説明がありました。

国民健康保険事業特別会計予算については、歳入歳出予算は前年度対比4.8%増の74億2千400万円余との説明を受け、予算額は年々増大しているが、この予算のピークは何年頃か、一般会計からの繰入額をどの程度想定しているかの問いに、団塊の世代が75歳到達を迎え

福祉教育  
委員会

### 特色ある教育活動事業交付金に附帯決議

福祉教員委員会に付託された議案は、条例案件12件、事件案件1件、予算案件5件で慎重審査の結果、条例案件中10件については、賛成多数により、残り2件については全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。事件案件、予算案件については全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

条例案件については、いずれも、消費税法改正を理由とする使用料、利用料の改正を行うものとの説明を受け、課税対象となっていないものについても、消費税率で値上げとなるのはなぜかとの問いに対し、総務省より、消費税は消費者が負担する間接税であり、公共施設使用料について

る、平成37年頃と考える。一般会計からの繰り入れについては、医療費の増加により現行の繰入額では賄えないものと考ええる。また、ジェネリック医薬品利用差額通知の効果の内59人が切り替えたことから、効果が高いとの説明がありました。

も消費税が適正に転嫁できるような措置を講じるよう通知が出されたことから条例改正を行いたいとの答弁がありました。

議案第40号は塩尻市吉田西防災コミュニケーションセンターの竣工に伴い、平成26年4月1日から10年間吉田区を指定管



楽器を使った地域との交流活動